

平成 30 年度 F D ・ F S D 研修会

テ ー マ	開 催 日	講 師 等	内 容
新任教員研修会	平成 30 年 4 月 2 日(月)	今野 弘学長他	① 建学の精神・教育理念とFD、② 就業規則、③ ハラスメント防止、④ 研究不正防止、⑤ 科研費等研究費使用要綱、⑥ 情報セキュリティー、⑦ 事務手続き関係、⑧ その他
『本学における障がい学生支援について』	平成 30 年 5 月 25 日(金)	上西 創 本学カウンセラー	障害者差別解消法施行を踏まえ、「障がい学生支援委員会」が設置された。これまでも、各学科において学生、保護者等との面談等、様々な配慮がなされてきているが、障がい学生支援委員会の設置は、大学として合理的配慮を検討する場を組織的に整備したという位置づけになる。 この機会に、改めて「障がい」および「支援・合理的配慮」に関する理解を深めてもらう。
『地域志向教育の新しい試みと地域の課題』	平成 30 年 6 月 1 日(金)	松崎 光弘 東北学院大学協働教育推進機構特任教授 品田 誠司 仙台市総務局参事	地域志向教育の新しい試みと地域の課題 ① ディープアクティブラーニングのすすめ アクティブラーニング授業実施の実例、今後ディープアクティブラーニングへ取り組むことへの重要性についてなど。 ② 仙台市の課題と展望 仙台市が抱える様々な課題について調査データを基に解説。特に子どもの貧困について大きな課題であり、それを解決するための総合計画を策定する必要性があるなど。
『地域・企業と連携した大学教職員研修の設計と運用』	平成 30 年 7 月 31 日(火)	松崎 光弘 東北学院大学協働教育推進機構特任教授	・コーディネーター養成の必要性と考え方 ・コーディネーター養成研修の設計と運用 ・コーディネーター養成研修の成果とふりかえり
『学生ジェネリックスキルの測定と育成』	平成 30 年 10 月 5 日(金)	米田 光明 (株)リアセック主任研究員	本学は AEGG ポリシーを定め、学士力に加えて人間力(ジェネリックスキル:汎用的能力)の涵養に努めている。学長室による学生データの分析を通じて、より効果的な教育施策の検討が日常のこととなりつつある一方で、G2 ポリシーに基づく人間力涵養については、分析に資するデータが不足しており、旧来の経験と勤に基づいて実施されている現状を否めない。 今回の研修会では、大学教育を通じたジェネリックスキル開発を測定と育成の両面から支援する「PROG」の開発と普及に実績のある株式会社リアセックに、学生ジェネリックスキル等の講演をしてもらう。
『『若者のこころの健康について考える』 —自殺に傾く学生への対応—』	平成 30 年 11 月 30 日(金)	福地 成 みやぎ心のケアセンター副センター長	現在、各学科のオリエンテーションやセミナーでこころの健康やメンタルヘルスの講話などを独自に実施しているが、個別の事例(自殺未遂など)を踏まえ、どのように対応したら良いのかの関心が高まっている。 今回の講演では、学生の自殺をはじめとするメンタルヘルスを学ぶにあたり、はじめに教職員に対して正しい知識を学ぶ。
『平成 31 年度シラバス作成方法について』	平成 30 年 12 月 10 日(月) ～平成 31 年 1 月 16 日(水)	教務委員会	シラバスには、授業方法、成績評価の方法等、十分な情報を記載する必要がある。一方、受講する学生側にとっては、その内容に則った学習を進めることで、科目が目指す到達目標に至ることができるという、授業担当教員と学生との“契約書”とも称される重要なもので、本学はシラバスの記載項目・内容等について、多様化する外部要請に応じつつ、検討・対応を進めてきた。 今回は、シラバス作成における外部要請の一つ、「平成 30 年度 私立大学等改革総合支援事業」における充足項目に着目し、現在の未充足要件である「シラバス作成方法に関するFDの実施」を補完するため、FD研修会を開催する。